



個人投資家向け会社説明会資料

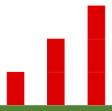
証券コード：2108

2024年9月7日

日本甜菜製糖株式会社



1. 会社概要	3ページ～
2. 成長戦略	17ページ～
3. 中期経営計画	25ページ～
4. 株式について	31ページ～
5. 参考資料	36ページ～



1. 会社概要



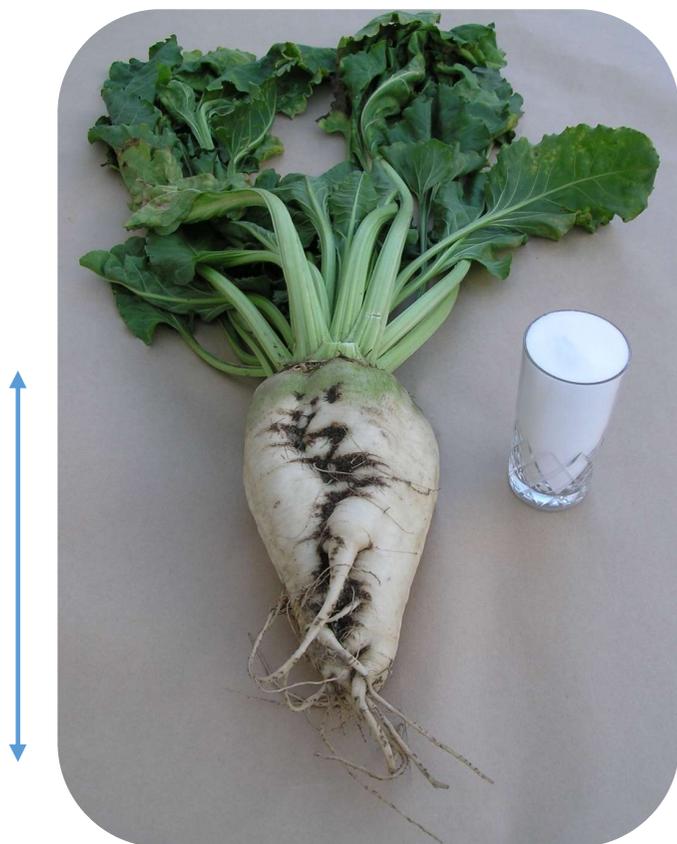
てん菜（ビート）畑 （北海道津別町）







てん菜とは？



※根の長さ 20cm弱

- ◆ビート、砂糖大根などとも呼ばれています。
- ◆北海道の畑作農業では基幹的作物とされ、輪作体系の柱となっています。
- ◆1個のてん菜からコップ一杯のお砂糖が採れます。



北海道で製造された砂糖を、全国のお客様へ納入



①北海道の畑で、てん菜を生産



③北海道より、貨物コンテナ、海上コンテナ、トラックで日本全国へ運搬

①生産

②製造

③運搬

④納入



②北海道にある当社三製糖所で、てん菜から砂糖を製造

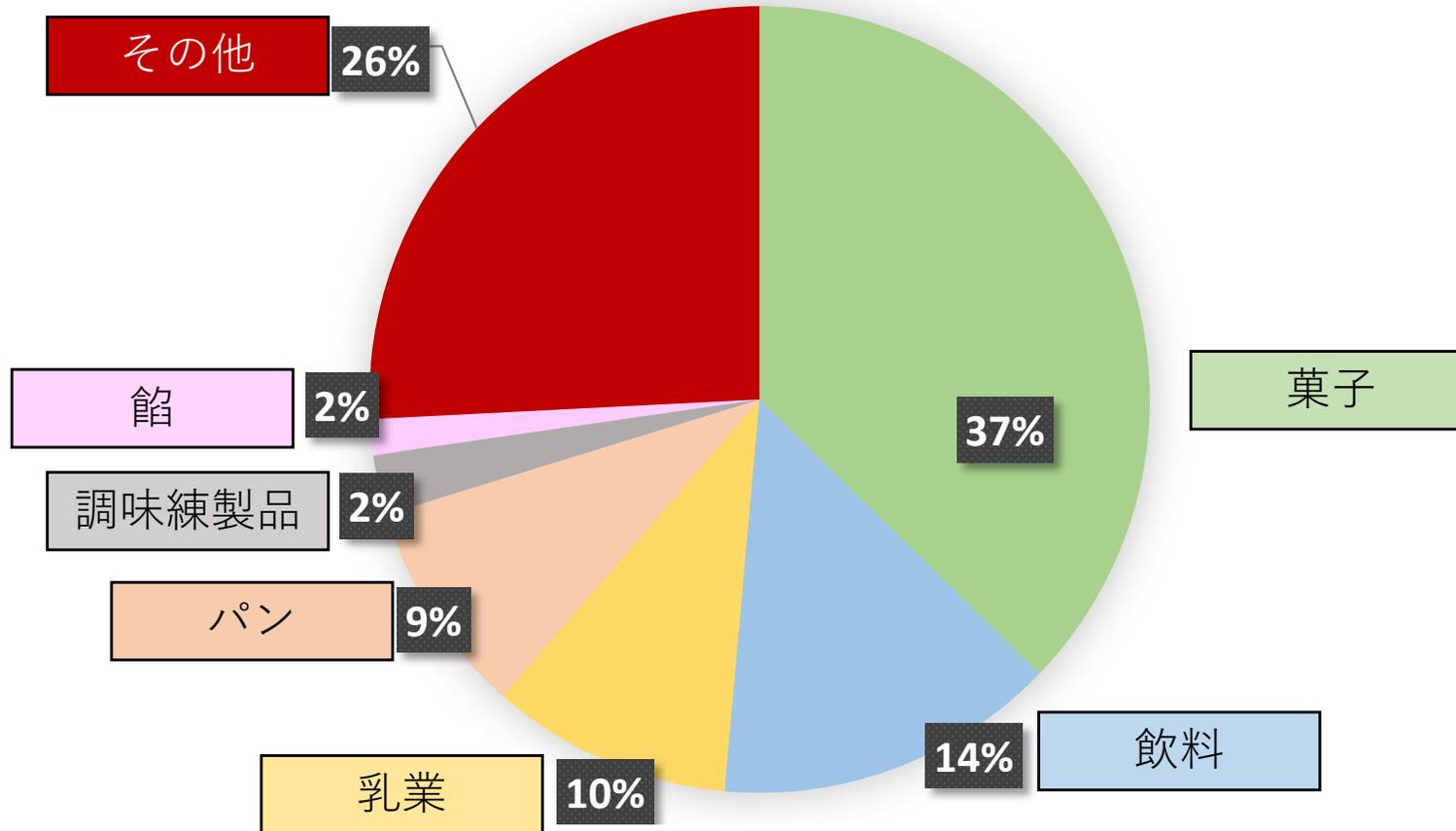


④大手菓子、飲料、乳業、パンメーカー等へ納入



当社の砂糖の出荷割合

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評を頂いており、国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強みです。

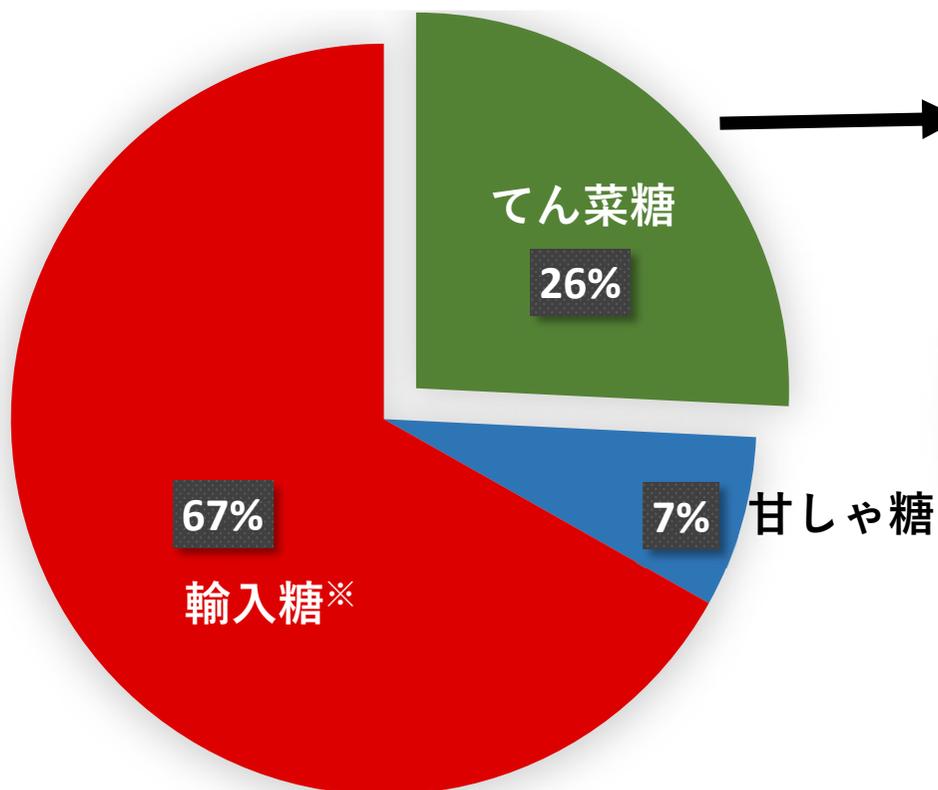


2023年4月～2024年3月実績

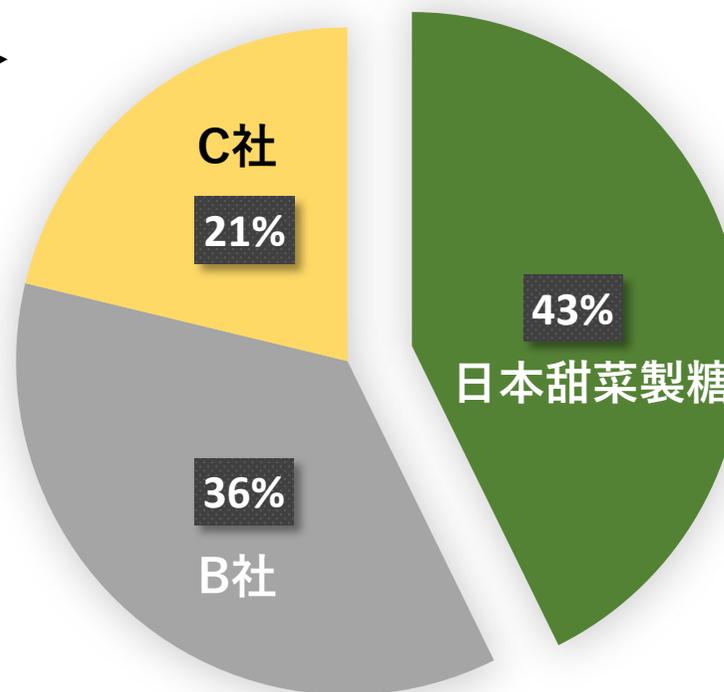


国内で生産される砂糖のうち、10%強を日本甜菜製糖(株)が生産しています。

国内原料別砂糖生産量
(令和5年度)



てん菜糖業者別砂糖生産量
(令和5年度)



※輸入糖 主にオーストラリア、タイより輸入された砂糖の原料となる粗糖から生産された砂糖

引用；令和5砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第4回） 令和6年6月 農林水産省
令和5年（2023年）産てん菜糖の生産実績 北海道農政部生産振興局農産振興課調べ



【輪作体系におけるてん菜の重要性】

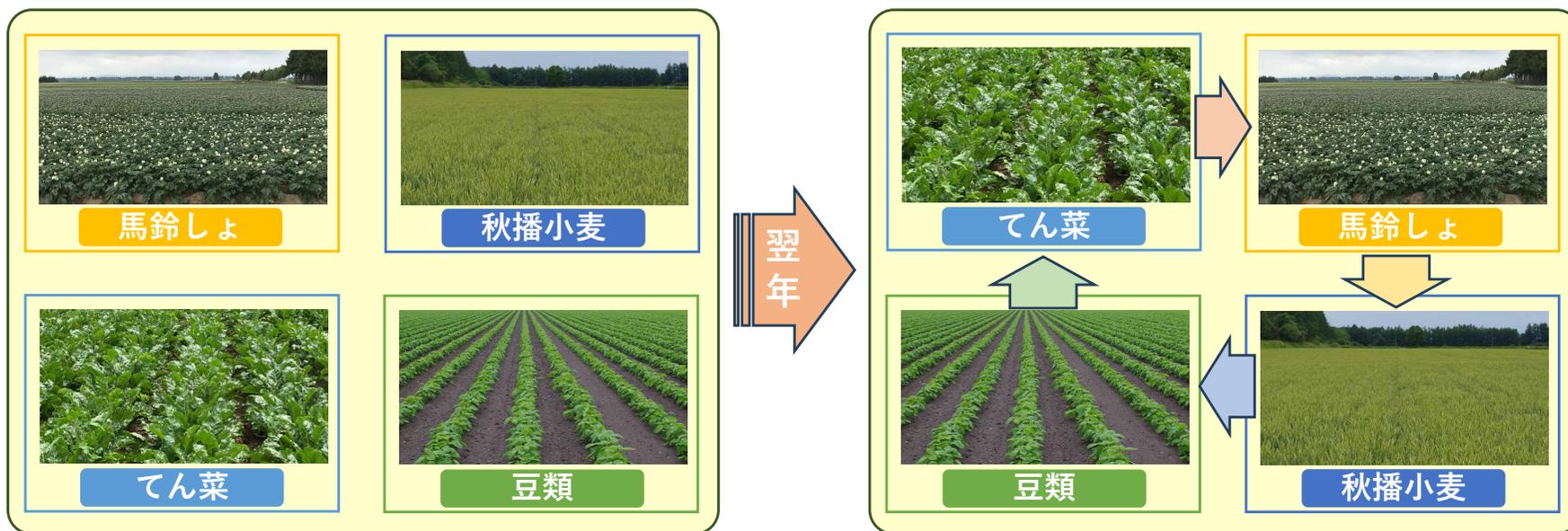
輪作体系とは

- 同じ畑で同じ作物を連続して栽培することを防止
- 複数の作物を順番で栽培していく作付体系

同一作物を連続して作ると

- 特定の菌群が増え、病気発生による品質の低下と減収
- 作物ごとに土壌養分の吸収特性が異なるため、畑の養分バランスが崩れ減収
- 除草剤の効果が限定され、特定の雑草が残存し、管理作業の増加と減収

連作障害



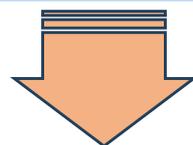
畑作4品にてん菜（根もの作物）を組み込むことで、土壌改良（茎葉残さの土中へのすき込み）や深耕性を利用した土壌の透排水・通気性の改善効果が期待できる

てん菜は、寒冷地作物として北海道農業には欠かせない作物



てん菜は、寒冷地作物として北海道農業には欠かせない作物

てん菜から砂糖を製造するためには製糖工場が必要。



当社は、北海道に国内最大の製糖工場である芽室製糖所を含めて三製糖所を保有。原料生産者、行政等の多くのステークホルダーと密に連携をとって、地域に貢献。その一方で、設備投資、技術革新等によって、企業としての継続的な成長と企業価値の向上に努めています。



てん菜は、北海道の畑作経営の輪作体系を維持する上で基幹的な作物であるとともに、てん菜糖業は砂糖製造等の関連産業と相まって、地域経済の維持・発展を支える重要な役割を担っています。



2024年3月期 売上高(連結) 692億円

食品事業
売上高26億円/4%



砂糖製造・バイオ技術を活用

飼料事業
売上高126億円/18%



てん菜の繊維質（ビートパルプ）は
牛の飼料として活用
牛用の配合飼料を販売

砂糖事業
売上高472億円/68%



北海道内の三製糖所で「てん菜」
から砂糖を製造し、全国で販売。
精製糖は北九州市で製造し
西日本地区で販売

農業資材事業
売上高38億円/6%



てん菜栽培の技術を活用

不動産事業
売上高14億円/2%



社有地を積極的に高度利用
帯広 商業施設
東京 オフィスビルなど

その他の事業
売上高14億円/2%

てん菜から種々の事業が派生



【砂糖】

砂糖事業

- ・ 業務用、家庭用合わせて日本で消費される砂糖の10%強を供給
- ・ 家庭用の「スズラン印」は北海道、中国地方を中心に販売
- ・ 当社オンラインショップで購入される方も多数

【製パン用イースト】

食品事業

- ・ 製パンに使われるパン酵母(イースト)を製造・販売
- ・ ドライイーストを製造しているのは日本では当社だけ
(ドライイーストは、生イーストと比べ保存性があります)

【牛用の配合飼料】

飼料事業

- ・ 北海道内で主に乳牛用の配合飼料を販売
- ・ イーストやオリゴ糖を配合した機能性のある商品が特長

【畑作で使われる紙筒（紙製の移植用資材）】

農業資材事業

- ・ てん菜の紙筒移植普及率は全道の約5割
- ・ ネギの紙筒移植普及率は全国の約3割



【加藤美蜂園本舗(株)てんさいオリゴ】

食品事業

- ・加藤美蜂園本舗(株)が販売しているてんさいオリゴには当社が製造したオリゴ糖が使われています。



北海道てんさいオリゴ



北海道てんさいオリゴ (黒)



北海道てんさいオリゴ 金のオリゴ



【日本の食料自給率に貢献】

- ・北海道てん菜糖のトップメーカー
「スズラン印」の砂糖は家庭用小袋では北海道、中国地方が中心ですが、業務用では全国に展開しています
- ・てん菜を通じて、北海道の畑作、酪農に貢献し、国産原料を使用した砂糖の安定的な供給体制を構築

【幅広い試験研究】

- ・自社研究施設での開発による特許や技術を多く保有しています

(研究開発費 総額 581百万円 (2024年3月期実績))

売上高の約1%

主な研究内容

- ・製糖技術（高度な生産技術）
- ・オリゴ糖やアミノ酸等の機能性を持つ食品や原料素材
- ・牛の健康寿命を延ばす機能性を持つ配合飼料
- ・農作業の省力化や環境保護に寄与する農業資機材や栽培技術

P19~P21
を参照

【健全な財務内容】

- ・自己資本比率 70.4% (2024年3月期連結)



北海道を拠点に、グローバルな視点で開発・製造

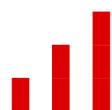


芽室製糖所
FSSC22000認証※ 2012年6月取得



東京本社
東京都港区三田三丁目12番14号

※ISO 22000を追加要求事項で補強した食品安全マネジメントシステムに関する国際規格



2. 成長戦略



「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍

収益

てん菜産業

「未来への挑戦」



CNF、SAF

「海外への展開」



飼料、紙筒

「健康社会の実現」



オリゴ糖

てん菜糖業



砂糖

パルプ

現在

将来



ラフィノース100
(ラフィノースを食べやすい
顆粒状にした商品です。)



北海道ビートオリゴ
(ラフィノースを含むシ
ロップです。)



北海道どさんこオリゴ
(フラクトオリゴ糖を
含むシロップです。)

オリゴ糖は難消化性の為、胃や小腸で消化
吸収されず大腸に届きます。ビフィズス菌
などの有用菌を増やす効果が期待できます。

ラフィノース (オリゴ糖の一種)

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖です。
健康志向の食品素材として幅広くご使用頂けま
す。

フラクトオリゴ糖 (オリゴ糖の一種)

てん菜糖蜜を原料とし、北海道で製造しています。
糖蜜由来の香ばしい風味とすっきりとした甘さが
特長です。



一般社団法人日本フードアナリスト協会が主催する2023年8月「第66回
ジャパン・フード・セレクション」でグランプリを受賞しました。



2022年12月に海外展開を図るため、海外事業部を新設しました。
日本のみならず、世界の農畜産業への貢献も果たしてまいります。



コウシのミカタ®
乳牛の仔牛用のサプリメント

DF A III (オリゴ糖の一種) ～乳牛の健康促進～

乳牛親牛の分娩後のカルシウム吸収と仔牛の
出生後の免疫物質吸収に効果があります。

機能性のある配合飼料や牛用サプリメントに
応用されています。

海外の酪農家に向けて輸出の準備を進めてい
ます。



紙製の育苗資材「チェーンポット®」
専用の移植機「ひっぱりくん®」

独自の育苗用資材 ～農作業の省力化、収量増加～

てん菜の栽培技術を応用して野菜や林木用の
育苗資材として販売しています。

海外では有機農業分野からの引き合いが増加
しています。



てん菜は二酸化炭素の吸収量が多い作物であり、甘味資源としての利用に加えて、化石資源消費の削減に繋がる新たな活用に取り組んでいます。

砂糖、イースト
で培った製糖技術、
バイオ技術の応用

てん菜の食品以外の新たな用途拡大
～これまでなかったものに挑戦していきます。～

① CNFの原材料

CNF (Cellulose Nano Fiber セルロースナノファイバー)
ナノメートルサイズの、軽量、高強度のセルロース繊維で、
植物由来であり、環境負荷が少ない点でも、昨今注目されて
います。

樹脂と混ぜて強度を高めるなど様々な用途が期待されていま
す。

② SAFの原材料

SAF (Sustainable Aviation Fuel 持続可能な航空燃料)
ジェット機で使用できる航空バイオ燃料で、化石燃料と比較
して二酸化炭素の排出量を大幅に削減できるため注目されて
います。

酵母により油脂生成を図る共同研究を神戸大学と取り組んで
います。



売上は相場等の影響により増加も、利益は2年連続で減少

単位：百万円

80,000

60,000

40,000

20,000

0

■ 売上高 ■ 経常利益

57,021

2,085

54,792

2,349

58,492

2,818

65,013

1,993

69,297

1,802

2020年3月期 2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期 2024年3月期

ROE

2.0%

2.4%

2.9%

1.9%

2.6%

PBR

0.36倍

0.34倍

0.32倍

0.33倍

0.37倍

砂糖、飼料
販売価格
上昇傾向

エネルギー
コスト等、増加

単位：百万円

8,000

6,000

4,000

2,000

0

第2次日甜グループ中期経営計画

※2022年3月期の期首から「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しています。



強み (Strength)

- てん菜生産者と築き上げてきた安定的な生産体制
- 研究開発力
- 長年のてん菜糖事業で蓄積された製糖技術

弱み (Weakness)

- てん菜糖（砂糖事業）への依存度の高さ
- 国内市場への依存度の高さ

機会(Opportunity)

- 国内外での健康志向、オーガニック需要の高まり
 - ✓ 健康食品
 - ✓ 有機農業
 - ✓ 家畜の健康を重視する畜産業
- 環境意識の高まり

脅威(Threat)

- 国内人口減少、低甘味料志向の高まりによる国内砂糖消費量の減少
- 2026年に向け、てん菜糖交付金対象数量の引き下げ(64万トン→55万トン)による、てん菜生産量減少

SWOT分析から見た当社の課題

- 現在の主事業である砂糖（てん菜糖）は今後の国内における成長が不透明
- てん菜、その他派生事業で培った強みを活用し、かつ社会的ニーズの高い新たな収益源の確立が必要



①資本収益性の改善(各事業部門の収益改善対策)

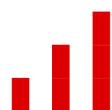
- ・各事業部門の課題整理、及び収益改善に向けて取り組むべき事項の明確化
- ・第2次中期経営計画に対し、更なる営業利益の上積みを図る
- ・てん菜産業への飛躍に向けた新規事業への進出

②市場評価改善策

- ・個人投資家説明会の実施
- ・政策保有株式の継続売却
- ・自己株式の取得
- ・株主優待制度を新設

※財務企画準備室の設置（2024年8月）

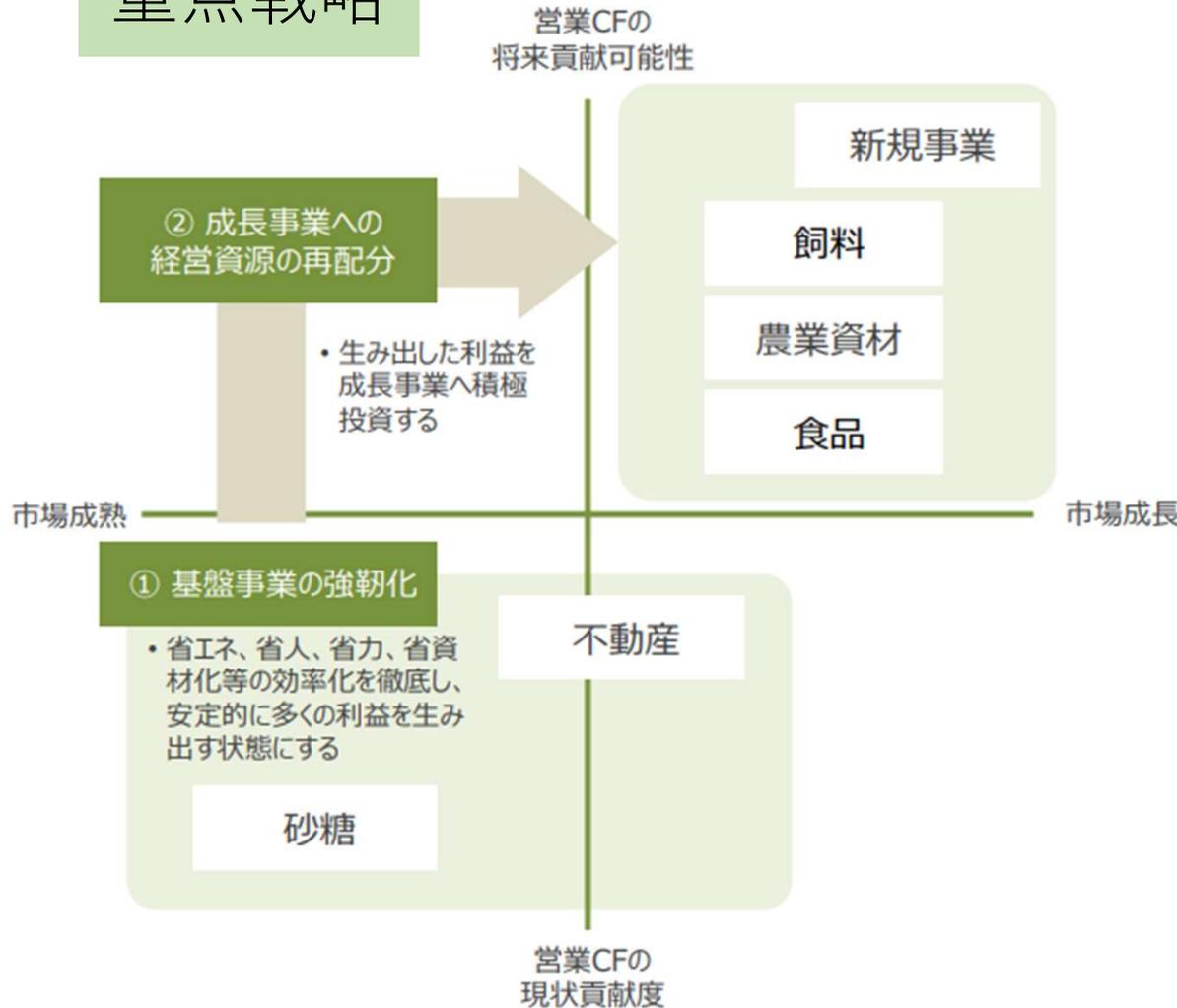
企業価値向上に向けて、邁進いたします。



3. 中期経営計画



重点戦略



③ 人材への投資

- 成長機会の提供などを通じ、多様な人材活躍と、ワークライフバランスに配慮した働き方を実現する

④ 安全衛生対策およびコンプライアンスの徹底

- ハラスメント研修実施などを通じ、従業員が安心して働ける職場を構築していく

⑤ 環境負荷低減の取組強化

- 社内の使用エネルギーの見直しなどを通じ、環境負荷低減を実現する

⑥ 農業、産業など地域や社会への貢献

- 地産地消の食育活動などを通じ、地域の活性化に貢献していく

※ 詳細は2023年9月21日付「第2次中期経営計画(2024年3月期～2028年3月期)」をご参照ください。

https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/2nd_middleplan.pdf



基本方針

持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、
安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく

目標値

	実績	目標
	2023年3月期	2028年3月期
営業利益	1, 506百万円	→ 2, 400百万円
経常利益	1, 993百万円	→ 2, 800百万円

社会課題の解決を通じた収益の向上により持続的な成長を実現



第2次日甜グループ中期経営計画 (業績予想・目標) 28

	第1次 日甜グループ 中期経営計画	第2次日甜グループ中期経営計画 126期～130期(2023/4～2028/3)		
	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)	2028年3月期 (目標)
売上高	65,013	69,297	67,000 . . .	—
営業利益	1,506	910	600 . . .	2,400
経常利益	1,993	1,802	1,200 . . .	2,800

単位：百万円

業容拡大の実現

- ①既存事業における適正価格での販売の徹底と一層のコストダウンに努める
- ②飼料事業・農業資材事業での海外展開（DFAⅢ、有機農業対応紙筒）の早期実現
- ③製糖副産物の付加価値付与を目指したNorwegian Mycelium AS（NoMy社）との業務提携等



資本政策

○株主還元内容を見直し

（従来）安定的な配当を継続（1株につき50円）



（2024年3月期以降）1株につき50円以上

必要に応じて自己株式を取得を検討

○実績及び予定

2023年3月期 配当金 1株につき50円、自社株買い 235百万円

2024年3月期 配当金 1株につき**55**円、自社株買い **999**百万円

2025年3月期 配当金 1株につき**80**円（予定）

自社株買い **999**百万円 ※2024年7月 買付終了





2030年度 環境数値目標

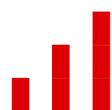


マテリアリティ

- 持続可能な農業への貢献
- 気候変動への対応
- 資源の有効活用
- 食の安全・安心
- 働きやすい環境の実現
- 地域社会への貢献

北海道農業を支える取り組みを進めるとともに、地球環境や地域共生社会の実現に視野を広げ、持続的な発展を目指します。

詳細は日本甜菜製糖(株)HP
サステナビリティ情報をご参照下さい。
<https://www.nitten.co.jp/sustainability/>



4. 株式会社について

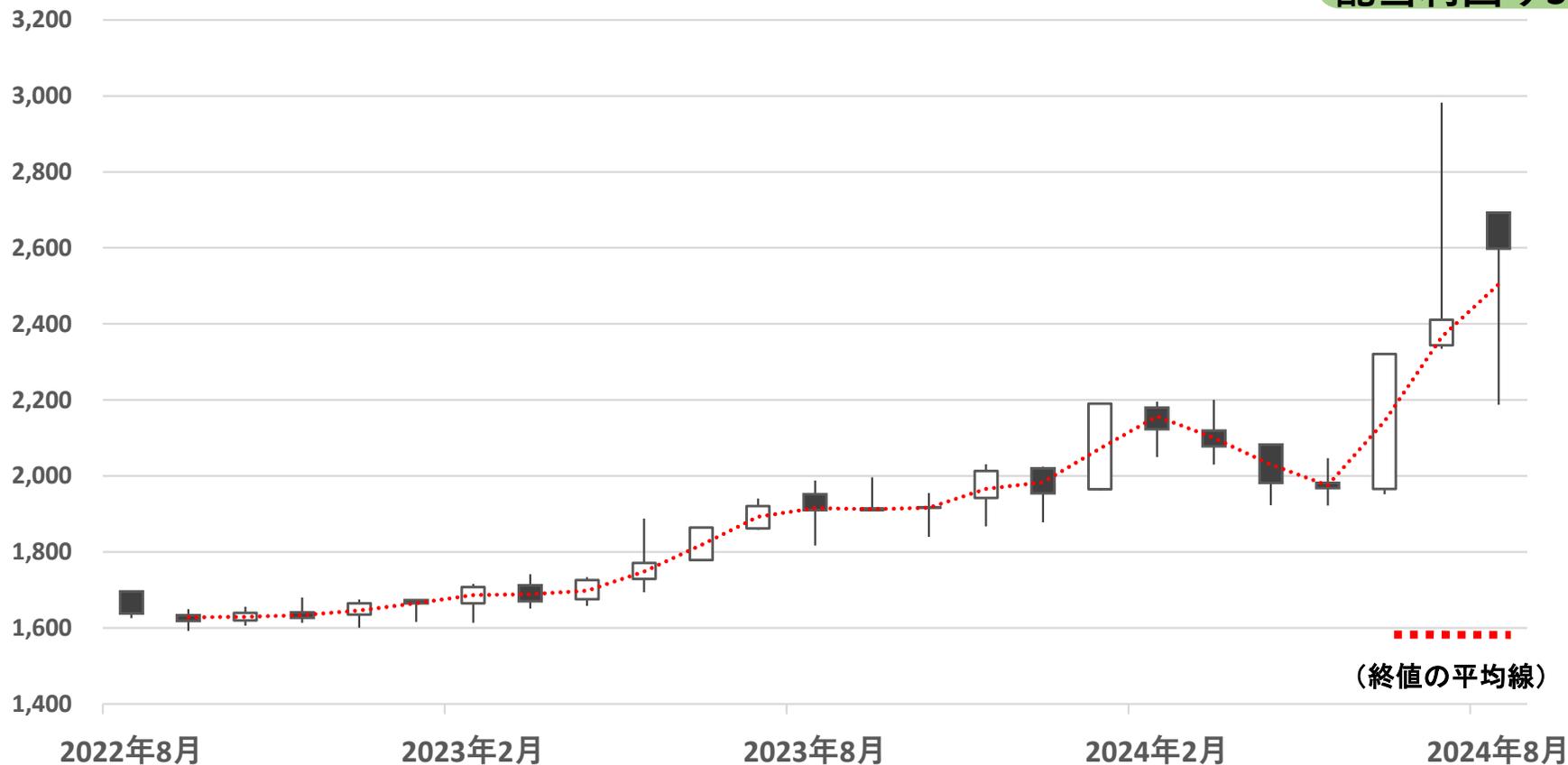


- 2022年4月 東京証券取引所市場第一部から新市場区分「プライム市場」へ移行しています。
- 証券コード 2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。

2024年8月26日
終値2,550円
配当利回り3.14%

株価チャート 2022年8月～2024年8月

単位：円



(終値の平均線)



時価総額※1	39,080 百万円	PER(予想)	5.28 倍
発行済株式総数	15,325,642 株	PBR(実績)	0.45 倍
配当利回り(予想)	3.14 %	EPS(予想)※3	482.73 円
1株配当(予想)	80.00 円	BPS(実績)※3	6,151.07 円
自己資本比率※2	70.4 %	ROE(実績)※2	2.6 %
単元株数	100 株		
年初来高値(7月25日)	2,982 円		
年初来安値(5月14日)	1,922 円		

※1 8月26日終値より算出

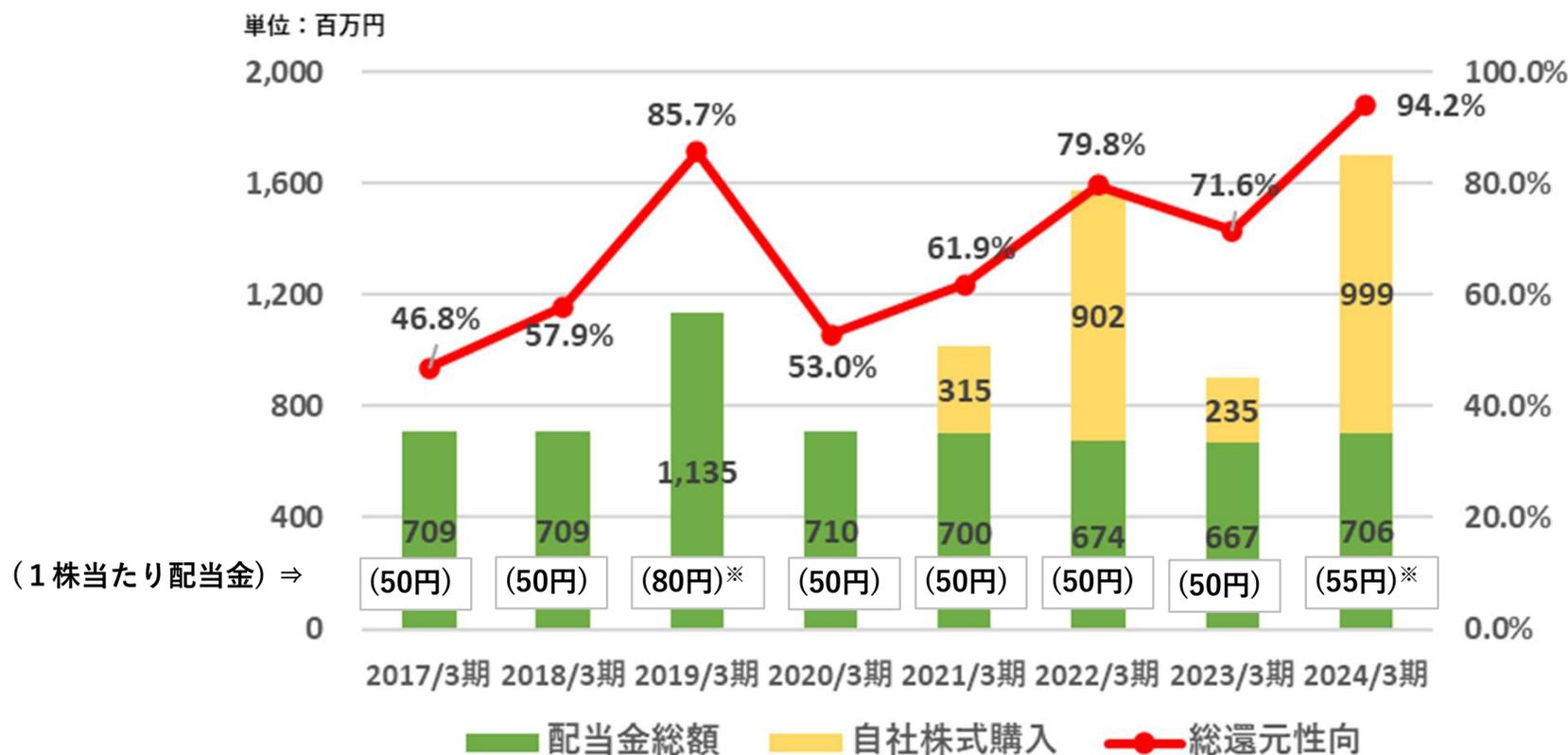
※2 2024年3月期決算短信より算出

※3 2025年3月期第1四半期決算短信より



●株主の皆様への適切な利益還元を経営上の重要な政策と位置づけています。

- 2024年3月期から配当方針を「1株あたり50円以上」と変更し、2025年3月期の配当は80円を予定しています。
- 必要に応じて自己株式の取得を検討いたします。



※2019/3期は1株につき50円の普通配当に加え、30円の創立100周年記念配当を実施いたしました。

※2024/3期は1株につき50円の普通配当に加え、5円の特別配当を実施いたしました。

※総還元性向は（配当金の総額＋自己株購入金額）／連結純利益で計算しています。（百万円未満切捨）



●2023年2月から株主優待制度を実施

- 毎年3月末現在（基準日）の株主名簿に記載または記録された株主様
（年1回 7月上旬のお届けとなります。）

所有株式数	贈呈品
100～499株	1,000円相当
500～999株	1,500円相当
1,000株以上	2,500円相当



グラニュー糖 1Kg



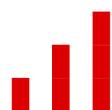
上白糖 1Kg



北海道どさんこオリゴ300g
フラクトオリゴ糖を含むシロップ
です。



ポケットシュガー 3g×30本



5. 参考資料



社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co.,Ltd.
本社所在地	〒108-0073 東京都港区三田三丁目12番14号 ニッテン三田ビル
代表者	取締役社長 石栗 秀
資本金	82億7千9百万円
創立	1919年（大正8年）6月11日 創業105年
従業員数	774名（連結）
株式	東京証券取引所 プライム市場（証券コード 2108）
事業内容	砂糖事業・食品事業・飼料事業・農業資材事業・不動産事業
子会社	十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)・ニッテン商事(株)・サークル機工(株) 士別スズランファーム（株）
関連会社	とがち飼料（株）
業績	（2024年3月期 連結） 売上高 692億97百万円 営業利益 9億10百万円 経常利益 18億2百万円 当期純利益 18億11百万円



砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適した**てん菜**を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培して頂き、収穫されたてん菜から砂糖を、北海道にある**芽室・美幌・士別の三製糖所**で製造しています。

当社は**ビート糖**で4割程度のシェアの他、また粗糖を原料とした**精糖**の製造・販売も行い、北海道、西日本では**スズラン印の砂糖**として愛用されています。

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評を頂いており、**国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強み**です。

当社は、ビート糖、精糖を合わせ日本で消費される砂糖の1割強を供給しています。

ビート糖



家庭用 グラニュー糖と上白糖の小袋です（1Kg）。北海道産であり、大変好評を頂いています。

精糖



家庭用 三温糖 中双糖 白ザラ糖の小袋です（1Kg）。その他、グラニュー糖、上白糖もそろえています。



食品事業

●事業概要

当社では砂糖の他、副産物であるビート糖蜜を活用し、パン酵母（イースト）やオリゴ糖などの機能性素材を製造・販売、当社の主業である「砂糖」と合わせて、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えています。

イーストは各種業務用のほか、家庭用のドライイーストも取り扱っています。
（日本でドライイーストを製造しているのは当社だけです）。

オリゴ糖は腸内の善玉菌であるビフィズス菌の栄養源となり、腸内の善玉菌を増やす効果が期待できます。甘味度はショ糖の約7割で、上質で風味豊かな甘味を持っています。

てん菜に含まれる有用成分であり、食品添加物（調味料）や化粧品素材に使用されている**ベタイン**（アミノ酸の一種）の製造・販売も行っています。

子会社 **ニッテン商事(株)**は製菓・製パン原料等を仕入・販売しており、2023年6月末にオープンしたニッテンオンラインショップ（<https://nitten-ec.shop-pro.jp/>）の運営を行っています。



とがち野酵母
（家庭用のドライイースト。
北海道で採取された野生
酵母です。）



ラフィノース100
（てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖）



ビートオリゴ
（オリゴ糖を含む
液状甘味料）



食品事業 新製品

●新製品 北海道ドライイースト「旨パン職人」

「旨パン職人」は、予備発酵が不要なインスタントタイプで、バゲットや食パンなど無糖・低糖生地のパンづくりに適したタイプの国産ドライイーストです。



大サイズ：500g
小サイズ：100g



日本甜菜製糖

HOKKAIDO
DRY YEAST

十勝製造

旨パン職人





飼料事業

●事業概要

「乳牛と肉牛の健康パートナー」として、酪農経営の安定と発展のため当社研究所において**独自に研究開発**した飼料を販売しています。ニッテン配合飼料の理念は、乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料をお届けすることにあります。

当社の配合飼料はてん菜に含まれる繊維質であるビートパルプを主な原材料とするもののほか、イーストやオリゴ糖ならではの素材を配合した**機能性のある飼料**を取り揃えています。



「コウシのミカタ®」は初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤で、初乳に混ぜて給与するだけで仔牛を健康に育てることができます。

新製品

「ヘルスメル Z's
(ジーズ)」



不良発酵サイレージの嗜好性を改善させる混合飼料です。
サイレージ10kg当たり100~300g混合したり、残飼に振りかけることで、悪臭を改善し嗜好性を高めます。



農業資材事業

●事業概要

育苗用の移植用資材である「ペーパーポット®」とそれに関わる資機材を製造・販売しています。ペーパーポット®は60年間北海道のてん菜産業を支えてきた当社が開発した技術で、現在も多様な作物に使用されている環境にやさしい紙素材の製品です。

商品ブランドの一つである「チェーンポット®」シリーズは、鎖のように連結したポットが特長で、簡易移植器「ひっぱりくん®」と組み合わせる事で短時間で簡単に移植することができます。

てん菜用はもちろん、そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、国内だけでなく海外にも販路を広めています。

ペーパーポットの育苗用や移植用の**農業用機械・器具、培土等**も取り扱っており、子会社**サークル機工(株)**では農業用機械・器具の製造・販売を行っています。



紙筒を連結した「チェーンポット®」専用の移植機「ひっぱりくん®」



日本でのん菜の約5割、ネギの約3割に使われています。



ホームページリニューアルしました。
<https://www.paperpot.jp/>



不動産事業

●事業概要

北海道、東京都等で**商業店舗、オフィスビル等を賃貸**しています。



北海道帯広市 複合商業施設

その他の事業

●事業概要

子会社 **十勝鉄道(株)**は、主に原料てん菜やビート糖・配合飼料の運送を行っています。確かな技術と信頼により、農業と輸送の新しいスタイルを提供し続けます。

子会社 **スズラン企業(株)**は、北海道帯広市・芽室町でスポーツ・レジャー事業(ボウリング場経営)、石油製品販売事業(石油製品販売・ガソリンスタンド経営)、保険事業(生命・損害保険代理店)を行っています。



スズラン企業(株) 帯広スズランボウル

日本の食料自給率は約38%（カロリーベース、2023年度数値）ですが、その中で砂糖は米、野菜、魚介類、果実に次いで高い自給率（カロリーベースで26%、2023年度数値）を持つ食品となっています。

国産の砂糖は北海道の「てん菜」、沖縄・鹿児島島の「サトウキビ」から作られています。当社は国内で消費される砂糖のうち、約10%を国産として供給すると共に、北海道畑作農業を支える事で、日本の食料自給率の向上に貢献しています。

食料自給率の向上は、フードマイレージの観点から、環境負荷の低減にもつながります。

ご清聴ありがとうございました。

詳細な情報は、当社ホームページをご参照下さい。

<https://www.nitten.co.jp>

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。



お砂糖はスズラン印

日本甜菜製糖株式会社





メ 毛



メモ
